社員の“Well-being”を実現し、持続的成長を目指す ～新たな健康目標『ワコールGENKI計画2025』を策定～

株式会社ワコール　　2021年12月03日

当社は、「お客さまに“美”と“健康”を届ける企業として、社員の自律的な健康管理を積極的に支援し、一人ひとりが心身ともに美しく健やかに活動できる環境づくりを通して、活力に満ちた健康経営を目指す」という「ワコール健康宣言」を2015年11月に発表しました。以降、会社と健康保険組合ならびに労働組合が三位一体となり、健康経営を戦略的に推進しています。

今回、新たに策定した『ワコールGENKI計画2025』では、社員の心身の健康状態を高めるとともに、それらの成果を「生産性の向上」や「社員エンゲージメントの向上」につなげていくことを目標としています。「生活習慣病対策」「がん対策」「メンタルヘルス対策」などこれまでの健康維持増進に向けた施策を継続しつつ、社員が自発的に健康改善に取り組む環境をさらに整備することで、社員の健康に対する行動変容を促していきます。そのほか、女性特有の健康課題に対する取り組みも強化します。

また、当社では、社員の健康維持増進に対する投資（健康投資）は、生産性の向上や組織の活性化をもたらし、将来の企業業績向上や企業価値向上につながるものと考えています。健康投資に対する効果目標については現在検討を進めており、今後、目標値や進捗状況を開示する予定です。

今後も社員一人ひとりの心とからだの健康づくりに取り組むことで、世界へ“美”と“健康”を届ける事業活動を推進します。

ご参考

■『ワコール GENKI 計画 2025』の具体的な取り組みと KPI

具体的な取り組み		目標	KPI	
心身の健康	身体の健康	社員の身体の健康状態の改善・向上	1)生活習慣病リスクの減少	25%以下
			2)ハイリスクフォロー者の二次検診受診率	100%
	心の健康	社員のメンタルヘルスの改善・向上	1)休業者×休業日数	10,000以下
			2)ストレスチェックによる高ストレス者率	5%以下
	健康リテラシー	健康リテラシーの向上による 従業員の自律した健康管理	情報をもとに、健康改善のための計画や行動を 決めることができる社員の割合	70%以上
	行動変容	従業員の健康改善に向けた行動変容	食事・運動・睡眠・飲酒・喫煙の5項目における 行動実践	項目別に 設定
女性の健康		女性特有の健康課題の改善	乳がん・子宮がん検診受診率	100%
			女性特有の症状に理解がある社員の増加	※
			女性特有の症状により業務パフォーマンスが 低下している社員の減少	※
生産性		生産性が高く仕事に取り組んでいる 社員の増加	生産性指数の向上 (アブセンティズム・プレゼンティズムの改善)	※
エンゲージメント		仕事に積極的に取り組み、 活力ある社員の増加	エンゲージメントサーベイにおける 肯定的回答の増加	※

※今後設定

■『ワコール GENKI 計画 2020』における主な取り組み

生活習慣病対策	・ワコール体操リニューアル ・歩活(ウォーキングイベント) ・ヘルスアッププログラム(メタボ対象者への特定保健指導) ・スマートボディチャレンジ(初肥満判定社員への啓発指導) ・ヘルスアップルームの設置　など
がん対策	・産業医によるがん啓発セミナー(胃がん・大腸がん・乳がん・子宮がん) ・子宮がん検診未受診者へのHPV検査実施 ・胃がんリスク検診(ABC検診)導入による効果的胃がん検診の実施 ・大腸がん(便潜血)検診の受診機会の拡充(健診時外で受診可能) ・禁煙サポートの実施・事業所内喫煙所の利用制限 ・健康保険組合と会社の連携によるハイリスク者の受診勧奨　など
メンタルヘルス対策	・ストレスチェック実施(100%受検) ・高ストレス者への保健師相談サポート ・産業医によるWEBセミナー実施 ・健康相談窓口PR ・メンタルヘルス関連啓発　など